

本日、春の香りが満ち溢れるこの良き日、平成 31 年度鈴鹿工業高等専門学校入学式を挙げていただけますことを、大変嬉しく思います。難関を突破し、入学許可を受け、名実ともに晴れて本校の学生となった学科新生 213 名、留学生 2 名、編入学生 1 名の併せて 216 名の皆さん、誠にありがとうございます。本校を代表して心からお祝い申し上げますとともに歓迎いたします。

こうして新しい制服に身を包み、初々しさに満ち溢れ、まばゆいばかりの新生生の姿を見ると、校長としても身の引き締まる思いです。私以上に、この良き日を心待ちにされていた保護者の方々にとっては、さぞかし感慨無量のこととご同慶申し上げます。私ども教職員は託された責任の重さを改めて認識し、ご期待にこたえるべく気持ちを新たにしているところです。

さて、本校は、国立高専一期校 12 校の一つとして 1962 年に創立されました。高専は当初は中堅技術者の養成を目的に創設されましたが、時代の変化と社会の要請に応え、15 歳の中学卒業生を受け入れる 5 年一貫教育を基本としつつも、大学編入や専攻科の設置などを進め、高等教育機関としての性格をより強めてきました。そして、科学的思考に基づく創造性を身につけると共に、それを実現していく実践性を備え、地域や世界で活躍する技術者の養成を目指しています。卒業生の活躍ぶりは、ものづくりを担う企業の技術者・研究者として、そして大学や高専等の教員・研究者として、高く評価されています。

本校は、知・徳・体の三育の全人教育を建学の精神とし、学校での授業や実習に加えて、インターンシップ、海外研修などを行ってきました。さらに、各種学会での研究発表、エコカー、ロボット、プログラミングなどの各種プロジェクトへの参加、体育系や文化系の課外活動、さらには高専祭やオープンカレッジなどの各種イベントなどにも積極的に取り組んでいます。そして、様々な分野で多くの受賞や表彰を受けるなど、全国的に高い評価を受けています。このような伝統を誇りに、皆さんには、鈴鹿高専をさらに一層発展させていただきたいと思います。

さて、皆さんが社会の中核として活躍する時代は、どんな時代でしょうか。現在からはとても想像もつかない時代になるかもしれません。今、日本の社会およびそれをとりまく世界が大きく変革しようとしています。その一つのキーワードがソサエティ 5.0 です。ソサエティ 5.0 はコンピューターやインターネットなどのサイバー空間と、我々が暮らしているフィジカル空間を高度に融合させたシステムをもつ社会です。ソサエティ 1.0 の狩猟社会、2.0 の農耕社会、3.0 の工業社会、4.0 の情報社会に続く、新たな社会で、すでにその実現のための動きが各方面で始まっています。また、関連する概念としてインダストリー4.0 がドイツで提唱されています。これは、製造業において人の知能や器用さを必要としていた作業を、AI と IoT によって代替していく新たな産業革命であります。

このような時代を迎えて、皆さんには、真に社会に役立つ創造性をもった技術者や研究者になっていただきたいと思います。そのためには、自然科学や技術はもちろん、歴史や哲学なども勉強することが必要です。歴史には過去の人々の人生が詰まっています。哲学には人生の知

恵が詰まっています。歴史や哲学は、私たちが進むべき道を照らしてくれます。ぜひ歴史や哲学などの本を読んで勉強してください。また、創造性を発揮するためには体力と気力を鍛えることも大切です。時には立ち止まって心を休めることも必要です。スポーツと芸術は私たちに生きる力と喜びを与えてくれます。もう一つ大切なことは、コミュニケーション能力です。特にこれからは国際的なコミュニケーション能力が求められます。本校では、「グローバルエンジニアプログラム」を実施していますので、それを利用して、国際的に活躍するための能力を養ってください。

私たち教職員は、皆さんの持っている力を引き出すよう頑張ります。皆さんもその期待にこたえ、自らを鍛えてください。皆さんのこれからの学校生活が、かけがえのない青春にふさわしい、充実した実りある時になることを祈って、お祝いと歓迎の言葉といたします。

平成 31 年 4 月 4 日

鈴鹿工業高等専門学校長

吉田 潤一